

目標達成計画

事業所名 グループホームかりん

作成日: 平成 27年 5月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	年6回定期的に開催し、事業所の状況を地域関係者や家族と話し合い、開かれた事業所となるように努力してほしい。	2ヶ月に一度、定期的に開催する。	利用者さま家族から生の声を聴きサービスの取り組みに生かしたいと思います。	0ヶ月
2	6(5)	玄関の施錠は身体拘束という認識の下、抑圧感の無い生活支援のために専門職としての工夫及び開錠のリスクも含め家族と話し合い、鍵をかけないケアへの検討を期待したい。	本人からの希望があれば、いつでも開錠し外出、散歩等取り組む。	ご家族からの強い希望もあり、レスパイトケアという観点から見ても現在のところ、開錠に至りません。またこの地域では、駅が近い、繁華街が近くにあることから、殆どの家が施錠しており、地域性もあるといえます。	1ヶ月
3	40(15)	飲み物は事業所で用意している飲み物を知らせて(お茶・コーヒー・紅茶・牛乳等)、希望するものを提供してはいかがか。メニューを見てもらう等検討してほしい。	メニュー表を作り利用者の希望を聞いています。	同じものを繰り返し希望される方もいて、ご家族と相談の上提供しています。	1ヶ月
4	45(17)	利用者全員に入浴の声かけを毎回行い、個々の希望に合わせて入浴支援につないでほしい。	前日入浴されなかった利用者から毎日、優先的に声かけを全員に行う。	完全個室の為時間制限もあり、工夫して楽しく入浴して頂いています。	0.5ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。